

二〇二四年度入学試験

前期入試試験問題

国語

注 意

- 一、開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 二、受験番号を解答用紙の二か所に書き、答えはすべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は **1** から **3** までで、十ページにわたって印刷してあります。
- 四、終了のチャイムが鳴ったら、すぐに筆記用具を置きなさい。

1 次の各問いに答えなさい。

問1 ——線のカタカナを漢字に直しなさい。送りがなが必要な場合は、それをひらがなで書きなさい。

- (1) 熱いシャワーをアビル。
(2) 身なりをセイケツにする。
(3) 品種をカイリヨウする。
(4) 新しい方法をココロミル。
(5) コウフクを願う。

問2 ——線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- (1) 試合に敗れる。
(2) 健康を保つ。
(3) 燃料がなくなる。
(4) 詩を暗唱する。
(5) すばらしい演技だった。

② 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

咲良は、① 勇人おじさんが玄關においたダンボールのなかをのぞいて、びっくりした。小さな白い犬が、Aと横たわっている。

「昼すぎにさ、落とし物だって、お年よりが、届けにきたんだよ」
落とし物？

勇人おじさんはおかあさんの弟で、北さいたま市の月の木駅前交番につとめている。

「高崎線の線路わきに、二、三日前から、ダンボール箱がおかれていた。ガムテープで封をされてね。そのおじいさんというにはね、最初は、ガタガタなかで、なにかがあげられているような音がして、気味が悪かったけど、そのうち、なんの物音もなくなった。ふしぎに思って、ふたをあけたら、犬がはいっていたんだって……」

「うそっ」

咲良は信じられない気持ちだった。

ダンボールには、犬がかじったような穴がところどころあいている。どうにかして、この箱からのがれようと、必死だったんだろう。

「ちよっとちよっと、勇人、なんのさわぎ？」

キッチンから、おかあさんがあわててやってきた。

「あららら」

おかあさんは、咲良とおんなじようにダンボールのなかをBと見て、頭をかかえこんだ。

「おじいさんといっしょに、飼い主がわかるような手がかりとなるものを、おれ、いっしょうけんめいさがしたよ」

勇人おじさんが弁明した。

「首輪はつけているのに、鑑札はなし、予防注射票もない。すてられたのかねーってのんびり話すおじいさんに、おれはいったんだよ。警察では、こういう飼い主の判明がつかない犬猫を、保護する施設はないんですよ。動物管理センターのほうへ行ってくださいって。ところがさ、おれが、一時預かり証を書いてる間に、おじいさん、きゆうにいなくなっちゃった」

「だからって、うちに、もってきたの？」

おかあさんがあきれた。

「だから、おれが、拾得者になって、この犬を、動物管理センターに預かってもらおうって、考えたんだよ」

勇人おじさんがむきになった。

② 咲良は胸がずきんとした。

この子、③ たらいまわしにされているみたい。

「おれはすぐに動物管理センターへ電話して、飼い主からの届け出がないか聞いてみた。もし届け出があったら、すぐに交番まで連絡してほしい。いまのいままで、まってるんだが……」

そうか……おじさん、がんばったんだね。

「でもさ、ふっと、こうも考えた。おじいさんのいうように、もしかして、線路わきにおいたのが、飼い主だったとしたら……動物管理センターにつれていったって、飼い主が見つかる保証なんかないんじゃないか。子犬なら、譲渡会にだして、新しい飼い主もさがせるけど……それよりも、こいつが、殺処分されてしまう確率のほうが高いかもしれないんだ。絶対に、④ それだけはイヤだった」

勇人おじさんは独身で、警察の寮にはいつている。おれが、いくら犬がすきでも、寮で飼ってやることはできないからねと、くやしそうにいった。

「さいわい、ねえさんとこは、みんな、犬がすきだから……」

「お、おかあさん、これ……」

咲良の胸のおくが、またずきずきと音をたてた。

犬のつきでた鼻から口にかけて、黒っぽい線がなん本も見えたからだ。まっ白な毛なみのなかで、それらはぶきみな記号のようにめだった。咲良は犬の頭をそつともちあげた。上あごと下あごとをつなぐかたちには、黒い線がぐるぐると輪をえがいている。まるで巻貝のうずまきもようみたいだ。 C 血もにじんできいる。

咲良の気持ちを見すかしたように、おかあさんがいった。

「この子、飼い主に、針金かナワかなんかで、きつく、しばられていたんじゃないの？
なんのために？」

「吠えないようにするための、口輪よ」

黒いぐるぐるもようは、その虐待のあとかもしれないという。

「だって、線路わきに、この子をすてていったのが飼い主なら、それもありえるわ」
咲良はいたたまれない気持ちでいっぱいになった。

「死んじゃうかもな、こいつ」

勇人おじさんが D ともらした。

「かなり衰弱してるし」

⑤ 咲良はくちびるをかみしめた。

そんな、そんな悲しいことが、あつてたまるもんか。

「おかあさん、助けてあげて」

「そうね、獣医さんにつれていく前に……」

おかあさんは、水をいれたシリンジを犬の口にもっていった。注射のようにゆっくりおしだすと、ちゆくちゆくピンク色の舌をのばして、犬が水を飲んだ。かたくとじていた目がうっすらとあき、おかあさんの顔をちろっと見た。それから咲良の顔も、目のかたすみでとらえた。

よかった。

⑥ だいじようぶ、この子、きつと、生きてくれるよ。

だいじようぶ……。

あれからおかあさんはすぐにあの子を、渡辺アニマルクリニックにつれていった。夜の八時ごろだったのに、渡辺先生は、快くドアをあけてくれた。渡辺先生は、おかあさんが飼っていた犬の主治医でもあるし、ふたりともおなじぐらいの年齢で、話があうのかもしれない。

あの子の鼻の黒いはずまきもようの治療がさつそくはじまった。栄養剤の点滴、血液検査、フィラリアの寄生虫検査、予防注射に、健康診断まで。渡辺先生はこういったんだって。

「マズルの黒い縞もようのが、針金でしぼられた虐待のせいかどうかは、わからないけど、消毒して、化膿どめのお薬をのませたので、だいじようぶよ。四、五歳ぐらいの男の子ね。栄養失調がひどいわね。でも、命に、べつじようはないわ」

だいじなのは、飼い主さんがみつかるまで、愛情をもって、この子とつきあってあげることかなって、につこり笑いながら。うん、⑦ わかっている。わかっているよ、先生。

細く細く長い声が、耳のおくで鳴っていた。

なに、なんだろう？ あの声は……。

ウオオオーと夜空にひびくふえのようだ。ううん、⑧ オオカミの遠吠えみたい。

咲良ははっとして、目をさました。

白い光がまぶしかった。時計を見るとまだ六時半。咲良は頭をこんこんたたいた。オオカミの遠吠えは、下のキッチンから聞こえてくる。そうだ、そうだった。

きのうの夜、あの子が、三日間の入院をおえて、渡辺アニマルクリニックから帰ってきたんだ。

「ねえ、おねえちゃん、あの子の声ってさ、オオカミみたいだね。チビのくせしてさ」

咲良は、ふたつ年上の、中一のなつめの部屋をノックしたが、オオカミよりもうるさいびきが、聞こえるだけだ。
⑨ もうつ。

(出典 堀 直子『救助犬の弟子』)

問1 —— 線① 「勇人おじさん」とありますが、勇人おじさんの職業を答えなさい。

問2

A

D

 に入る語としてふさわしいものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

ア うつつら イ ゆつたり ウ ぼつり エ ぐつたり オ まじまじ

問3 —— 線② 「咲良は胸がずきんとした」・⑤ 「咲良はくちびるをかみしめた」はそれぞれ咲良のどのような気持ちを表していますか。最もふさわしいものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 犬が自分の家に来ると思っていたのに飼えないことがわかり残念な気持ち。

イ 犬が呼びかけても反応してくれず水も飲んでくれないのでさびしい気持ち。

ウ 犬が虐待されて死んでしまいそうなほどに衰弱している様子をくやしく思う気持ち。

エ 犬が誰にも預かってもらえないことがあまりにもかわいそうで心がいたむ気持ち。

問4 —— 線③ 「たらいまわし」の意味としてふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 目的の相手に確実に受け渡すこと。

イ つぎつぎにほかに受け渡すこと。

ウ 面倒めんどうになって乱暴らんぼうにあつかうこと。

エ おもしろがって見せ物にすること。

問5 —— 線④ 「それだけはいやだった」とありますが、何がいやだったのですか。十五字以内で答えなさい。

問6 —— 線⑥ 「だいじょうぶ、この子、きつと、生きてくれるよ」とありますが、咲良がそのように感じた理由をそれぞれ十字以内で二つ答えなさい。

問7 ———線⑦「わかってる」とありますが、咲良は何をわかっていると言いたかったのですか。本文中の言葉を使って三十字以内で答えなさい。

問8 ———線⑧「オオカミの遠吠えみたい」とありますが、ここで用いられている表現方法と同じものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア まるでわたがしのような雲だ。

イ 空が泣いている。

ウ 歩いていたんだ、彼が。

エ もし明日雨が降ったら中止だ。

問9 ———線⑨「もうっ」とありますが、この時の姉に対する咲良の気持ちとして最もふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア オオカミよりもうるさいいびきをかいていることに驚いている。

イ 話しかけてもいびきをかいて起きないのんきさにあきれている。

ウ こんな時間まで寝ていると遅刻してしまうのではないかと心配している。

エ 犬のことをまったく気にもとめていない冷たさに怒りがこみあげている。

③ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(設問の都合で図は省略しました。)

コミュニケーションとは

① コミュニケーションという言葉は、現代日本にあふれている。コミュニケーション力が重要だという認識は、とみに高まっている。プライベートな人間関係でも仕事でも、コミュニケーション力の欠如からトラブルを招くことが多い。仕事に就く力として第一にあげられるのも、コミュニケーション力である。コミュニケーションが上手くできない人間とはつきあいたくない、一緒に②仕事をしたくない、というのは一般的な感情だろう。

I、コミュニケーションとは何か。それは、端的に言って、意味や感情をやりとりする行為である。一方通行で情報が流れるだけでは、コミュニケーションとは呼ばない。テレビのニュースを見ている行為をコミュニケーションとは言わないだろう。やりとりする相互性があるからこそコミュニケーションといえる。

やりとりするのは、主に意味と感情だ。情報伝達Ⅱコミュニケーション、というわけではない。情報を伝達するだけではなく、感情を伝え合い分かち合うこともまたコミュニケーションの重要な役割である。何かトラブルが起きたときに、「③コミュニケーションを事前に十分とるべきであった」という言葉がよく使われる。一つには、細やかな状況説明をし、前提となる事柄について共通認識をたくさんつくっておくべきであったという意味である。もう一つは、情報のやりとりだけではなく、感情的にも共感できる部分を増やし、少々の行き違いがあってもそれを修復できるだけの信頼関係をコミュニケーションによって築いておくべきであった、ということである。

意味と感情——この二つの要素をつかまえておけば、コミュニケーションの中心を外すことはない。情報という言葉は、感情の次元をあまり含んでいない言葉だ。情報伝達としてのみコミュニケーションを捉えると、肝心の感情理解がおろそかになる。人と人との関係を心地よく濃密にしておくことが、コミュニケーションの大きなねらいの一つだ。II感情をお互いに理解することを抜きにすると、トラブルのもとになる。

仕事上のやりとりで、一見、情報だけを交換しているように見えるときがある。④そういった状況でも、感情面に気を配ってコミュニケーションしている人とそうでない人とは、仕事の効率や出来・不出来に違いが出る。人間は感情で動くものだ。情報交換をしているときでも、同時に感情面での信頼関係を培うことのできる人は、仕事がスムーズにいき、ミスもカバーしやすい。トラブルが修復不可能にまでなるときには、必ずと言っていいほど感情の行き違いがある。⑤コミュニケーション力とは、意味を的確につかみ、感情を理解し合う力のことである。

「感情」と「意味」の座標軸

コミュニケーションとは何かを理解しやすくするために、シンプルに座標軸で考えてみよう(図1参照)。X軸として「感情」、Y軸として「意味」をとる。意味と感情の両方をやりとりできているAゾーンはコミュニケーション良好ゾーンである。それとは対照的な左下にあるDゾーンは、意味も感情も

やりとりできていないコミュニケーション不全ゾーンである。Ⅲ、戦争状態というのは、このDゾーンに踏み込んでいくときだ。お互いの意思を聞き合い、相互に調整するということを放棄した状態である。感情的にも、憎しみだけで向き合っていて、やりとりはない。コミュニケーションへの意志を完全に失った状態が、⑥ 絶交状態、戦争状態である。

左上の⑦ Bゾーンは、感情はやりとりされていないが、情報は交換されているゾーンである。しっかりと意味を共感し合う必要のある場面がここに当たる。仕事の場面では、しっかりと意味のやりとりが、何よりも大事だ。意味を取り違えれば、どんな仕事でもトラブルが起きる。顧客が要求している事柄をつかまえることに失敗すれば、当然トラブルになる。たとえばコンビニで商品を買うときは単純なので、むしろにやかな笑顔がプラスポイントにもなる。しかし、家を建てるときや、仕事上の契約や営業など厳しい場面では、少しの「意味」の取り違えが深刻なも事につながる事が頻繁にある。そのような事態をあらかじめ防ぎ、あるいは修復するためにコミュニケーション力が必要となる。どこがずれているのか、ということに敏感になることが、コミュニケーション力向上の第一歩である。

自分は、相手が伝えようとしている「意味」をしっかりと受け取っているのか。こうした問いを常に自分に投げかけていると、失敗が少ない。この失敗を防ぐためには、自分で相手の言っている意味を再生して確認するのが最上の方法である。「おっしゃられているのは、……ということですね」と確認してみる。そうすることで、意味のズレをはっきりとさせることができる。意味がずれることが問題なのではない。ずれていることに気づく感覚が大事なのである。意味のズレを微妙に修正していくプロセスを共に踏むことで、信頼関係は強まっていく。

座標軸の右下の⑧ Cゾーンは、感情をやりとりするコミュニケーションのゾーンである。これは、恋人同士や家族のような関係において重要なゾーンである。恋人同士では、何気ないことでも笑いあえる。端から見ていけば、何の意味もないと思えるような会話でも、当人たちにとっては最高のコミュニケーションになっているということがある。喫茶店で隣り合わせたカップルがどうでもいい話題で盛り上がっているのを聞いていると、ばかばかしい気持ちになる。それは会話に大した意味がなく、感情だけがやりとりされているからだ。恋人同士という関係においては、意味を常に生産していくような関係が求められているのではなく、感情を確認しあい強固にしていくことが重要なのである。

実はこのCゾーンは仕事上の関係でも意識的に使われることがよくある。初めて一緒に仕事をするようになった関係では、食事を共にするケースが多い。情報のやりとりだけならば、左上のBゾーンで事足りる。会社の会議室で十分に意思確認はできる。それで仕事に支障を来すことはない。しかし、一般的にはそのあとで、一緒に食事をすることが多い。一見無駄なようだが、ここで感情がやりとりされるのである。食事を共にし、お酒を飲みリラックスすることで、会議の時には出なかつた人間性が出てくる。会議の時には効率よく意味を交換しようとするために緊張感が生まれる。それを解きほぐす役割が食事を共にすることだ。「シンポジウム」のもとになっているギリシャ語の「シユンポシオン」は饗宴という意味だ。共に食事をする事で分かち合う。分かち合われるのは意味と感情である。

(出典 齋藤 孝『コミュニケーション力』)

問1 —— 線①「コミュニケーション」とありますが、筆者はコミュニケーションとはどのようなものだと述べていますか。本文中から十五字以内でぬき出しなさい。

問2 —— 線②「仕事をしたくない」とありますが、この「ない」とは、使い方がことなるものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア もうお菓子でつられるほど幼くない。

イ 明日雨が降りそうだから行きたくない。

ウ 遠足が楽しみで待ちきれない。

エ 机の上に置いてあったはずのペンがない。

問3

I
II
III

に入る語を次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度使うことはできません。

ア また イ では ウ しかし エ したがって オ たとえば

問4 —— 線③「コミュニケーションを事前に十分とるべきであった」とありますが、この言葉はどのような意味で用いられていますか。その内容としてふさわしくないものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 状況を細かく説明することで、前提となる事柄について共通認識を多く作るべきであった。

イ 事前の打ち合わせをあえて細かく行わず、行き違いを起こさないようにすべきであった。

ウ 情報をやりとりする中で、お互いの感情を共感できるように信頼関係を築くべきであった。

エ 行き違いは起こりうるので、それを修復できるようにお互いの感情理解を深めるべきであった。

問5 —— 線④「そういった状況」とありますが、それはどのような状況ですか。「状況」に続くように本文中から三十字以内でぬき出しなさい。

問6 ——線⑤ 「コミュニケーション力」とありますが、これについて四人が話し合っています。四人の中で本文の内容と合わないことを述べている人はだれですか。次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 太郎さん 仕事上のやりとりなんだから、感情は入れないで、なるべく情報だけを交換するほうがいいね。

イ 花子さん そうかしら。仕事と言っても人と人のやりとりなんだから、感情面に気を配ったほうがいいわ。

ウ 正太さん そうだね。人間は感情で動くものだから、お互いに理解し合うようにすればミスもカバーできるね。

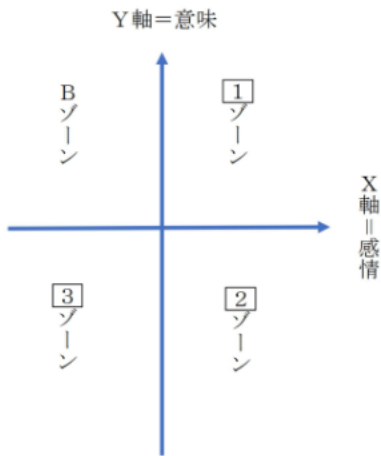
エ 明美さん 確かに。ミスが出たときでも感情面で信頼関係を築いておけば仕事がスムーズになるのよ。

問7 ——線⑥ 「絶交状態、戦争状態である」とありますが、この状態はAとDのどのゾーンですか。アルファベットで答えなさい。

問8 ——線⑦ 「Bゾーン」とありますが、このゾーンで最も大事にされていることは何ですか。「くこと」に続くように本文中から十二字でぬき出しなさい。

問9 ——線⑧ 「Cゾーン」とありますが、このゾーンにおける関係の例を、本文に挙げられているもの以外で一つ答えなさい。

問10 本文中の説明にしたがって、次の図の①く③に当てはまるアルファベットをそれぞれ答えなさい。



問11 これまでの人間関係の中で、あなたがもっと上手くコミュニケーションを取れば良かったと思う具体的な場面を挙げて、どのようなコミュニケーションを取れば良かったか、八十字以上百字以内で書きなさい。

これで問題は終わりです。